



バスデーパーティ

こども主催の

はじまるよ!

先日、保育実践セミナーに参加しました。「見直そう、日々の保育の“あたりまえ”」というテーマの講習では、普段保育をする中で暗黙の了解で行っているようなルールについて考えました。例えば、『戸外では元気に身体を動かして遊ぶ』というルール。戸外あそびが好きな子も多いですが、中には室内でじっくりと遊びたい子もいます。こどもたちの意思を確認して、戸外で遊びたい子は戸外へ。室内で遊びたい子は室内へ。途中で気持ちが変わったら、大人に声を掛けてね。とこどもたちに話をしました。すると、こどもたちは自分の好きな場所でじっくりと遊べることに満足感を味わうことができ、普段はなかなかやめられないあそびも、自分でしっかり区切りをつけ、次の活動に入ろうとする姿が増えてきました。

何事も大人都合でやり方を決めるのではなく、こどもたちがこどもらしく過ごせる環境づくりを目指していきたいと思います。

影山 美穂

## ～園公開～

12月5日(金)に園公開がありました。各クラス活動や生活の様子を見ていただきました。緊張している姿や、保護者や、地域の方に見てもらえることが嬉しい子もあり春の親子参観日より、少し大きくなった姿が見られました。お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

小山 柊哉



## きゅうしょくの じかん

【材料・作りやすい分量】

- ・食パン（10枚切または8枚切） 1枚
- ・ゆずの果汁 3.2ml
- ・粉砂糖 9g

【作り方】

- ①食パンを四等分にカットしたものをオーブン（150～160℃）またはオーブントースターでカリカリになるまで焼く。
- ②ゆずの果汁を絞り、粉砂糖を加えて混ぜ合わせアイシングを作る。
- ③焼いた食パンにアイシングを塗る。

【ポイント】

※アイシングはスプーンですくってトロッするぐらいの固さが塗りやすいですよ。

※ゆず果汁の代わりにレモン果汁で作ってもおいしいですよ。

1



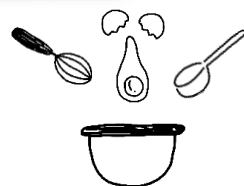
2



3



## サクサク甘酸っぱい ～ゆずラスク～



... — ... — ... — ... . 今月のテーマ

はな組（0歳児）

～寒さに負けず～

おおきな“わ”  
だより

### 『運動あそび』

寒さが本格的になりましたが、戸外に出られる日は寒さに負けない身体作りを保育者と一緒に楽しんでいます。手足にぐっと力を入れて斜面を登ったり、まてまてと友だちと一緒にしゃべったり、寒い中でもしっかり身体動かして楽しんでいます。

朝倉 満里奈



ゆき組（1歳児）

### 『いち、にの、さんぺいちゃん！』

寒さに負けず、こどもたちは元気いっぱい外あそびを楽しんでいます。上着を着る機会も増え、外に出る前の身支度を自分でやってみようとする姿が増えてきました。

ゆき組では、「いち、にの、さんぺいちゃん！」のかけ声に合わせて上着を着ることを伝えています。楽しい声かけの中で、自分で腕を通そうとしたり、着てみようとしたりする姿が見られます。かけ声が気に入ったこどもたちは、上着以外の衣服を着るときにも「さんぺいちゃん！」と口ずさみながら着ようとする姿が見られ、微笑ましく見守っています。

内田 菜月

いち、にの、さんぺいちゃん！





## にじ組（2歳児）

### 『手をつないで』

『なべなべそこぬけ』や『かごめかごめ』など数人で輪になったり、二人組で手を繋ぐわらわうたあそびを楽しんだりしています。まずは保育者とやってから、こども同士でも楽しめるように投げかけています。友だちに手を差し出すと「ここいいよ」と声をかけられたり、スペースを開けてもらえたりすると、嬉しくてお互いに顔を見て「にこっ」とする様子を見て保育者も笑みがこぼれ、身体も心もほかほかします。友だちとやると相手のことも気にかけるので、難しいこともありますと一緒に遊ぶと楽しいな、と感じられるようになっていくことに成長を感じています。これからどんどん寒くなりますが、繰り返し楽しみながら元気に過ごしたいです。

河合 比呂子



## つき組（3歳児）



### 『あったかごはん』

寒い日が増え、あったかいご飯を食べるだけで幸せになりますね。しかし、どうしても室温を温かくしていても、気温が寒いとあったかいご飯も冷めてしまいます。今までは給食室の職員が盛り付けをして提供をしていましたが、あったかいご飯をすぐに食べられるように、こどもたち自身で盛り付けをすることにしました。盛り付け量の見本を見ながら、一生懸命盛りつけようとします。少しこぼしてしまうのも経験です。あったかいご飯で幸せ気分になり、寒い冬を乗り越えて行きたいです。

影山 美穂

### 『力を合わせてえいえいおー！』

毎日助け鬼を楽しんでいます。ただ仲間を助けるだけではなく、作戦会議の中で「はさみうちしよう」「あしがはやいひとをおいかけよう」などと意見が出たり「それいいね」と友だちの意見を受け入れたりする姿が増えています。また、負けた時に悔しい気持ちになる子もいますが「悔しかったね。次はどうする？」と気持ちを共感して次に繋げています。そういった経験を積み重ねて「こうしたから勝てた」「負けただけ次はこうしてみよう」とこどもたちからどんどん声上がることを期待しています。

牧 文香

## ほし組（4歳児）



## そら組（5歳児）



### 『寒さよりも楽しさを！』

「かかしけんぱ」というあそびを楽しんでいます。かかしの足から順番に石を入れていき、最後かかしの頭まで入れることができると勝ち、というゲームです。勝負事にはいつも本気のそら組。しかし、友だちが上手くいくと一緒に喜び、惜しい時は一緒に悔しがり、大盛り上がりです。

寒さはまだまだ続きますが、こどもたちと寒さを吹き飛ばすくらい楽しめるあそびをたくさんみつけて一緒にしたいです。

田村 胡桃

### 『寒さなんて関係ない!』

気温も低くなり本格的な冬がやってきました。毎週月・水・金曜日はAグラウンドに行ってしっかりウォーミングアップをしてから遊んでいます。寒い中でも「鬼ごっこしよう」とこどもたちの元気な声が聞こえてきます。職員も一緒に遊び、たくさん走った後は身体もほかほかです。

永吉 由佳

## 学童クラブ



## 子育て支援センター



### 『つどいの広場で・・・』

毎週火曜日にさくらんぼ保育園で『つどいの広場』をしています。きれいな落ち葉がたくさんあって親子で夢中で集めていました。寒くても戸外あそびは楽しく、元気いっぱい遊んでいます。

井上 由香

## こかげより（法人事務局）



「こかげ」は入り口で、つわの和紙人形が「どうぞお入りください」とお待ちしております。ちょっと奥まった場所ですが、大人もこどもも「気軽に出入り」してもらえたらうれしいです。願いが届くように、いつも入口の扉を開けておきたいのですが、寒さに今は負けています。早く暖かくなあれ。

谷本 昭彦